

とうえいCS 中間報告

【1年目：令和6年度】

- 理念・方向性の熟議 → 「笑顔と誇り 子どもの育つ力を信じて～」
- 学校教育活動・ふるさと学習の充実
 - ・窓口として学校と地域をつなぐ
 - ・活動の様子を地域に発信

【2年目：令和7年度】

熟議の場を広げる

- ・部活動について
 - ① 4/26 17名
 - ② 8/28 27名

→校長会、三町村へ
- ・先生と 中8/18 小8/22 育つ力を信じて～
- ・木育について 8/20 11名
→年1回継続

一体型CSを目指す

- ・地域活動協力推進員
学校運営協議会メンバーが活動にも参加する
- ・合同熟議の開催
- ・学校の要請に応じた活動、支援
中学校からの依頼（職場体験、駅伝講習会、クイズ）

学校教育活動から広げる

- ・放課後活動としての「のびのび企画」 中：9/22 小：6/23, 11/6, 2/2
- ・地域活動への協力
現状把握 チラシの配布
星空音楽祭でオニスタークス
- ・とうえい学びのひろばでの個への支援

- 場の設定に努めた。
- ◇当事者である子ども、保護者、先生と話す機会がもてない。
- ◇子どもを取り巻く教育課題
地域課題が把握できない。

- コーディネーターだけでなく、つなぐ人材が増えたことにより、活動が充実してきた。
- ◇合同熟議では、現実的な課題と根本的課題のズレが生じ、調整が難しかった。

- 「のびのび企画」を始めることができ、参加してくれた講師の方からも好評を得ている。
- ◇中学生のニーズの把握が不十分だった。
- ◇地域講師のさらなる発掘

- * 地域に出て地域課題をつかむ。
- * まずは、必要なことを必要な人と熟議する。
- * 少しずつ関係人口を増やす。

- * 持続可能となるよう、しくみ・人材・資料を整える。
- * 学校側との情報共有の継続と、地域活動にかかる窓口の一本化

- * 放課後活動の可能性を広げる。
- * 部活動の地域展開への支援
- * 地域コーディネーター、地域おこし協力隊としての企画・運営